

株式会社 FUJI がシーメンスデジタルインダストリーズソフトウェアと デジタルエンタープライズ事業で協業

株式会社 FUJI（本社：愛知県知立市、代表取締役社長：須原信介、以下 FUJI）は、シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア（本社：東京都渋谷区、カントリーマネージャ：堀田邦彦、以下 SIEMENS）と日本におけるデジタルエンタープライズ事業で協業することに合意しました。

市場ニーズの多様化や製品サイクルの短期化、働き方の変化など生産現場の要求に対応するため、FUJI はこれまで、電子部品実装ロボットを中心とした自動化・デジタル化を推進してまいりました。統合生産システム Nexim(ネクシム)を核とした M2M (マシンツーマシン)連携ソリューションや生産スケジューラ、部材ロジスティックソリューションを開発し、電子部品実装フロアのデジタル化(FUJI Smart Factory)を実現しました。

しかし、デジタル化の取り組みは実装工程にとどまらず組み立て検査工程、さらには製品設計をも含んだ、ものづくり全体の最適化を求める声が高まっています。

これらの要求に応えるべく、FUJI は SIEMENS と協業し、工場全体のデジタル化を推進いたします。

ものづくりのデジタル化では、仮想空間(Cyber)で生産データを取り込み、シミュレーションした生産計画を、現実空間(Physical)における実生産で差異なく実行できる「デジタルツイン」として実現するため、柔軟で効率の良い生産が可能となります。

協業の第一歩として、FUJI 岡崎工場に SIEMENS のデジタル化技術を統合した Siemens Xcelerator を導入し、電子部品実装ロボット生産のデジタル化を進めています。これにより生産スケジュールを工程単位から工場全体のシステムへと変革し、工程間在庫の削減やリードタイムの短縮を図ります。

電子基板製造向けには、SIEMENS が持つデジタルソリューションと、FUJI が持つ FUJI Smart Factory ソリューションを連携させ、電子部品実装フロアはもちろんのこと、組み立て・検査工程まで含む工場全体でのデジタル化を図ると同時に、統合基幹システム ERP(イーアールピー)との垂直統合も可能といたします。

FUJI は、このようなデジタルツインソリューションを 2020 年 4 月より提供いたします。



今後も FUJI は、世界有数のロボットメーカーとして、生産現場の更なる自動化、スマートファクトリーを目指して製品開発を続けてまいります。

■会社概要

会社名 : 株式会社 FUJI
 代表者 : 代表取締役社長 須原 信介
 所在地 : 〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19
 設立 : 1959 年 4 月
 事業内容 : 電子部品実装ロボットならびに工作機械の製造、販売
 資本金 : 5,878 百万円
 URL : <https://www.fuji.co.jp/>

■本件に関するお問合せ

ロボットソリューション事業本部 営業技術部 今井 美津男 TEL 0566-81-8263
 Email: fsfcontact@fuji.co.jp